

■日高管内の状況及び学力向上策（小学校数:24校、児童数:418人）（中学校数:15校、生徒数:439人）

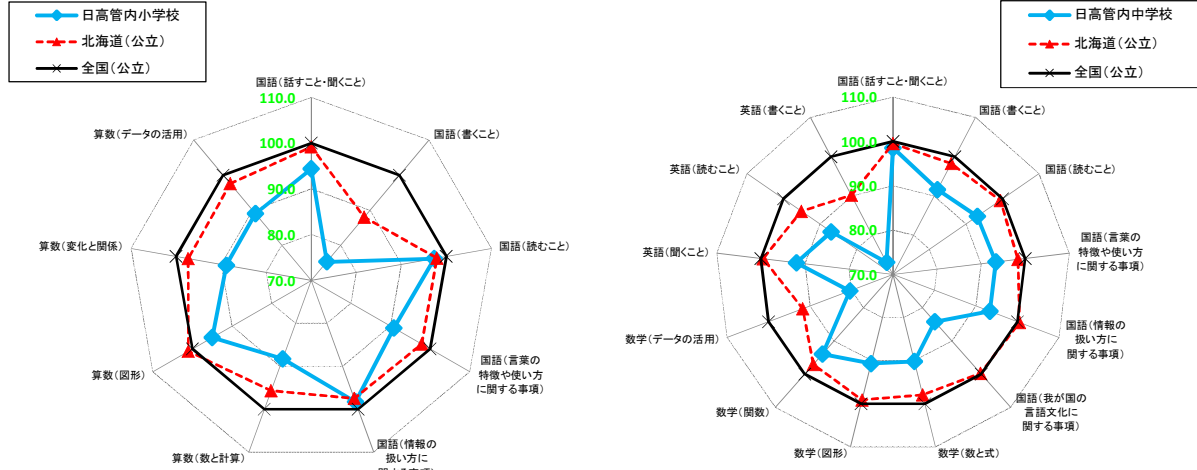
【教科全体の状況】

平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
日高管内	63(63.0)	56(56.3)	65(64.6)	46(45.6)	40(39.7)
全国	67(67.2)	63(62.5)	70(69.8)	51(51.0)	46(45.6)

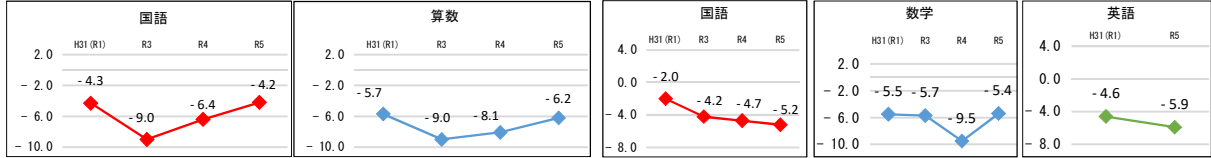
小学校

中学校

（レーダーチャート）教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況（管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

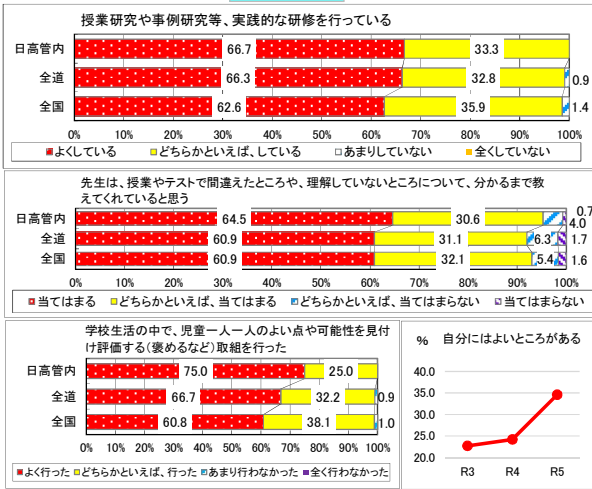


【平均正答率の推移】管内の平均正答率－全国（公立）の平均正答率の経年変化

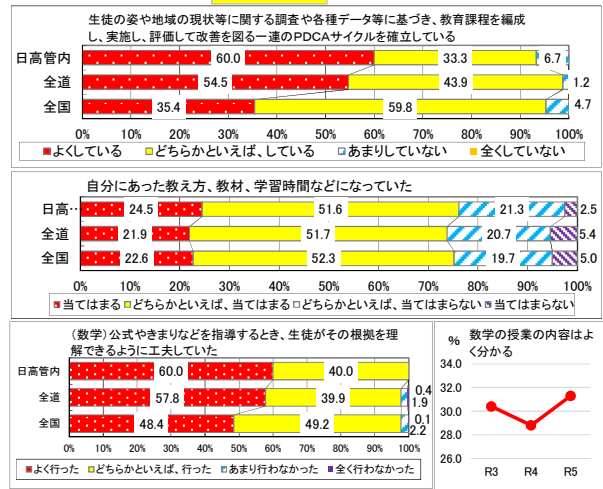


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校で、授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校で、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組を行ったことにより、自分にはよいところがあると回答した児童の割合が増加したと考えられる。

中学校

日高管内教育推進の重点として、「組織で取り組む検証改善サイクルの確立」に取り組んだことにより、生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合が全国及び全道を上回るとともに、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校で、数学の授業において、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫したことにより、数学の授業の内容はよく分かるかと回答した生徒の割合が昨年度より増加したと考えられる。

【日高管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

日高管内における学力向上の取組

1. 管内教育の重点(学力)

- 重点1 子ども一人一人が資質・能力を確実に身に付ける教育の推進
 - ・指導と評価の一体化による授業改善
 - ・組織で取り組む検証改善サイクルの確立
 - ・望ましい生活習慣、学習習慣の確立

2. 具体的な改善策

(1) 指導と評価の一体化による授業改善

- 各学校における学習指導要領を踏まえた評価規準の設定、適切な評価方法による子どもの学習状況の見取り及び一人一人のつまずきに応じたきめ細かな指導等、指導と評価の一体化による授業改善の推進

【具体策】

- ・日高管内教育課程研究協議会の開催
- ・指導と評価の一体化プロジェクト

(2) 組織で取り組む検証改善サイクルの確立

- 各学校における適切な数値目標に基づく年複数回の検証等、PDCAサイクルによる取組の確立及び教職員間の共通理解をベースとした日常的な取組状況の振り返りの推進

【具体策】

- ・各種調査結果、チャレンジテストの結果の分析、取組の検証・改善について、各種会議等で演習を実施
- ・学校訪問及び教育局主催の各種会議、研修会における「検証改善サイクルシート」による一貫した指導助言

(3) 望ましい生活習慣、学習習慣の確立

- 各学校における学習習慣の確立に向けた小中連携等の具体的な取組の推進

【具体策】

- ・管内ICTコンソーシアムにおけるクラウドストレージを活用した家庭学習の実践交流
- ・日高地区PTA連合会や学校運営協議会と連携を図った研修会

3. 令和5年度(2023年度)の取組

